

コロナ禍における区民の健康に関する調査の実施について

1. 実施目的

品川区保健所においては、令和4年9月下旬までに累計約9万8千人が新型コロナウイルス感染症に感染しているが、急性期以後の罹患後症状の実態やリスク要因については不明な点が多く、これらの罹患後症状の全てが感染者特有のものであるのか否かについても明らかになっていない。

区では国立国際医療研究センター、筑波大学および大阪大学と連携し、区民のコロナ禍における健康状態や生活習慣の変化についてアンケート調査を行い、その結果を研究することで区民の健康保持や保健施策に役立てる。

2. 実施内容

(1) 概要

品川区民の新型コロナウイルスへ感染した方と感染していない方（非感染者）に健康状態等に関するアンケート調査を行う。

(2) 実施方法

国立国際医療研究センター、筑波大学、大阪大学と品川区の4者により、共同研究契約書を締結し、以下の役割により調査を実施する。

- ①国立国際医療研究センター アンケート作成、データ収集・分析等
- ②大阪大学 送付物の印刷・封入業務委託、データ分析
- ③筑波大学 送付物の発送調整、データ分析
- ④品川区 対象者の抽出と個人情報に関わる作業

※アンケート内容は個人を特定できるものではなく、対象者に関わる送付先など個人情報に関わる作業は全て区が行う。

(3) 調査対象

品川区民の20歳から69歳の方のうち、令和4年7月から8月に新型コロナウイルスに感染した方（約3万人）とそれに相対した同年齢・同性の非感染者の方（約3万人）

(4) アンケート内容

感染の有無、急性期の症状とその対応、感染以降続く症状とその対応、その他疾病の罹患状況、新型コロナワクチン接種状況、コロナ禍における生活状況、家庭状況、勤務・通学状況等

(5) アンケート方法

WEBアンケート方式で、対象者に対しアンケート用URLの入った送付兼案内状と研究説明文書を郵送する。

(6) アンケート期間

令和5年1月10日から令和5年2月13日まで

(7) アンケート謝礼および調査経費

アンケートを回答した方には謝礼として500円分のデジタルギフトを進呈する。また、謝礼を含む本件調査・研究にかかる経費は、すべて国立国際医療研究センター、筑波大学および大阪大学が負担する。

3. スケジュール（予定）

令和5年1月10日	アンケート調査票発送
令和5年2月13日	アンケート調査票回答期限
令和5年5月末	調査結果報告

4. 周知について

区広報紙（令和5年1月11日号）、区ホームページ、SNS（LINE、Twitter）